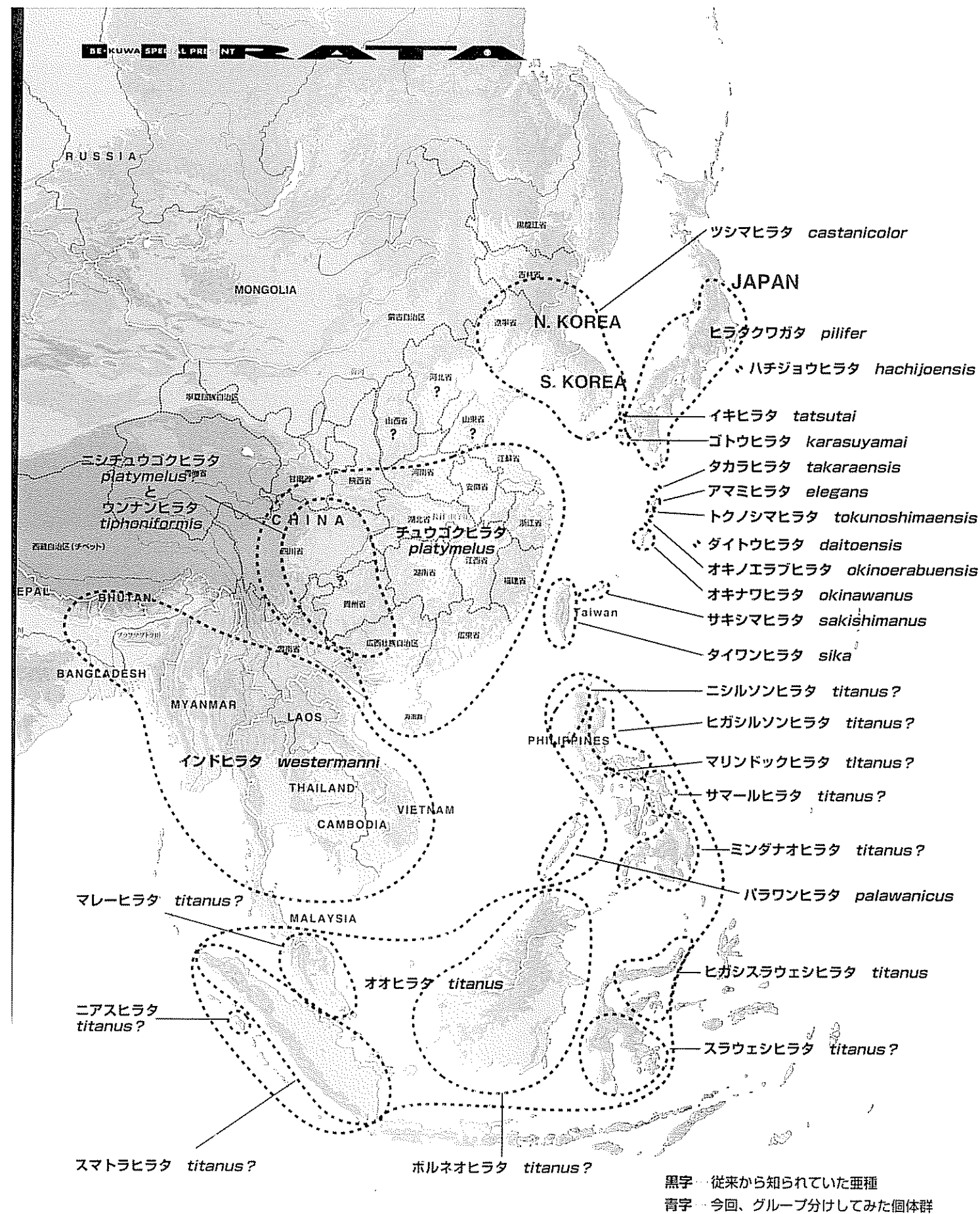




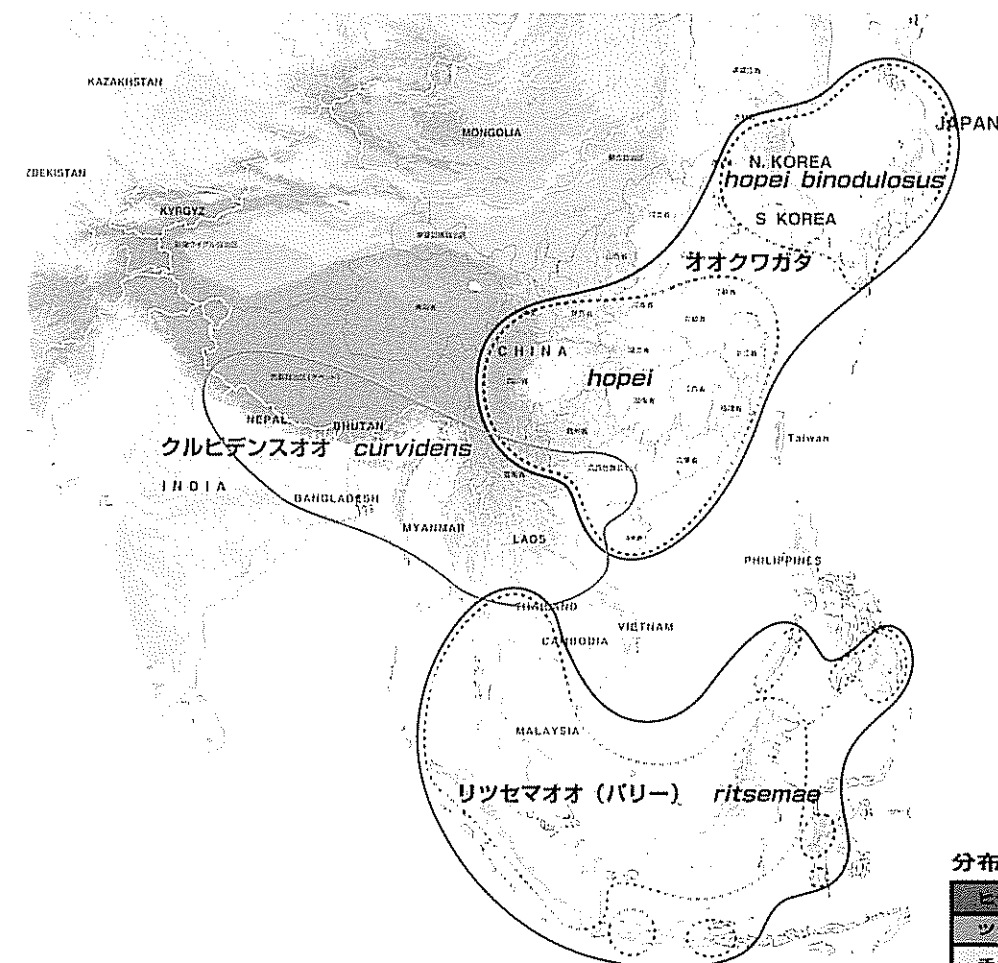
藤田宏の ヒラタクワガタ 大図鑑

ヒラタクワガタ (*Dorcus titanus*) の分布は広く、日本から朝鮮半島、中国、インドシナ半島、インドネシアの島々、フィリピンの島々などの広大な地域におよぶ。マレー半島からインドネシアの島々、およびフィリピンの島々に分布するものはとくに巨大で、「オオヒラタクワガタ」という名にふさわしい。地域による変異も多く、分布図のように17の亜種に区別されている(黒字)が、亜種の中にもさらに多くの変異が認められ(青字)、今後の詳しい検討が必要と思われる。

ヒラタクワガタの分布の状況を見てみると、不思議とオオクワガタの仲間の分布と重なっている部分が多いことに気づく。ヒラタクワガタ (*pilifer*) とツシマヒラタ (*castanicolor*) を併せてオオクワガタ (*binodulosus*) と、チュウゴクヒラタ (*platymelus*) はホペイ (*hopei*) と、インドヒラタ (*westermanni*) はクルビデンス (*curvidens*) と、オオヒラタ (*titanus*) はリツセマ (バリー) (*ritsemae*) というように、ヒラタクワガタとオオクワガタの種(または亜種)の分布は、ほぼ重なっているようだ。

藤田 宏 Hiroshi Fujita
1953年6月6日東京都葛飾区生まれ

「月刊むし」「BE KUWA」編集長、「世界のクワガタムシ大図鑑(1994)」編集者。クワガタムシとカミキリムシについて、多数の研究発表を行い、日本産クワガタムシ4新種19新亜種、外国産クワガタムシ2新種2新亜種に命名。著書は「日本のクワガタムシ」(1985、講談社)他。現在、20年がかりで集めた資料をもとに、「日本産クワガタムシ大図鑑」を執筆中。



分布がほぼ重なるヒラタとオオクワ

ヒラタクワガタ	オオクワガタ
ツシマヒラタ	ホペイ
チュウゴクヒラタ	クルビデンスオオ
インドヒラタ	リツセマオオ
オオヒラタ	

オオクワガタの仲間の分布